

Web対応エネルギー監視モジュール 取扱説明書 (バージョンアップ編)

製品改良の為予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

watanabe
渡辺電機工業株式会社

目次

1 バージョンアップを行う前に	3
2 TELNET接続	4
3 バージョンアップ	6
3-1 バージョンアップ手順	6
3-2 バージョンアップ後の確認	12

この度はWeb対応エネルギー監視モジュールをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本取扱説明書ではTELNETによる本器のプログラムのバージョンアップ方法について説明しております。
本取扱説明書の内容に関しては製品改良の為、予告なしに変更する事がありますのでご了承ください。

- ご使用前に本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管し、必要なときにお読みください。

⚠ 注意

- バージョンアップを行うには、本器で動作するプログラムファイルが必要になります。
プログラムファイルは弊社営業部門からご提供いたします。
バージョンアップを行う前にあらかじめ下記の連絡先までご相談ください。

【連絡先】

渡辺電機工業株式会社 営業本部
TEL: 03-3400-6141 FAX: 03-3409-3156
Mail: support@watanabe-electric.co.jp

- バージョンアップが正常に完了するまでは本器での計測ができません。

1 バージョンアップを行う前に

バージョンアップを行う前に、下記のものをご用意ください。

名称	補足説明
Web対応エネルギー監視モジュール WTM-PE6L□-□□A□00	バージョンアップを行う対象の製品をご用意ください。
パーソナルコンピュータ (以下、P Cと表記します)	バージョンアップを行うには、P Cが必要になります。
L A Nケーブル	P Cと本器を接続する際に使用します。
プログラムファイル WTM-PE6L□-Vxxx.mot	本器で動作するプログラムファイルです。 ファイル名の□は、製品の形式と同じになります。 またファイル名のxxxは、そのプログラムファイルのバージョンを表します。 弊社営業部門からプログラムファイルをご提供いたします。 バージョンアップで使用するP Cに保存してください。
ハイパーターミナル	Windowsに付属している通信ソフトです。 プログラムファイルをP Cから本器に転送する際に使用します。

⚠ 注意

- Windows Vistaには、ハイパーターミナルが付属しておりません。

2 TELNET接続

バージョンアップを行う際は、TELNETで接続する必要があります

TELNET接続の例としてWindows XPでの操作方法を説明します。

※以下、スペースと改行入力は下記のように表記します。

スペース：□

改行入力：□

コマンド入力は半角／全角または、大文字／小文字の区別がありますので、半角英数字で記載の通り入力して下さい。

- ① Windowsの『スタート』より『すべてのプログラム(P)』を選択します。
- ② 『アクセサリ』にある『コマンド プロンプト』をクリックします。
- ③ DOS画面が表示されましたら、『telnet □ IPアドレス』と入力してTELNETを起動します。

例:モジュールのIPアドレスが『192.168.1.10』の場合

```
C:\¥>telnet □ 192.168.1.10 □
```

- ④ ログインユーザー名『watanabe』を入力します。

※ログインユーザー名は変更できません。

```
>login:watanabe □
```

- ⑤ パスワード『6141』を入力します。

※パスワードは変更できません。

※入力したパスワードは、実際の画面上では*で表示されます。

```
>password:6141 □
```

※ログインユーザー名、またはパスワードが間違っていた場合は、下記の通り表示されます。

```
login incorrect □  
>login:
```

ログインに3回失敗すると切断されます。再度TELNETに接続する場合は③から操作を行って下さい。

⑥ Telnetに接続すると下記メニューを表示します。

```
telnet VerX.XX 2010/01/01 00:00:00
(rst)本体リセット
(evd)内部イベント
(lst)LAN情報
(rtc)時計参照/設定
*(lan)LAN通信速度、通信方式
(sum)SUM値参照/設定
(err)エラーステータス応答参照/設定
*(ini)工場出荷時設定
[dig]自己診断
*[vup]ソフトウェアバージョンアップ
[mem]内部メモリ参照
[dly]LAN通信ディレイ参照/設定
```

*()マークのコマンドは、本体リセット後、または本体の電源ON時に適用され動作を開始します。

メニュー上部の内容は下記の通りとなります。

VerX.XX	:ソフトウェアバージョン
2010/01/01 00:00:00	:TELNETメニュー表示時刻

※TELNET接続中に『?』を入力すると上記メニューを表示します。

```
>? 
```

コマンドが間違っていた場合は下記の通り表示されます。

```
Error!
```

⑦ 『bye』または『logout』と入力するとTelnetを切断します。

```
>bye  TELNETを切断します。

ホストとの接続が切断されました。

>logout  TELNETを切断します。

ホストとの接続が切断されました。
```

※ Telnetに接続後、3分間何も入力しない状態が続くと、自動的にTELNETを切断します。

3 バージョンアップ

バージョンアップは下記の流れで行います。

- (1) TELNET接続
↓
- (2) ソフトウェアバージョンアップのコマンドを実行
↓
- (3) ハイパーターミナル接続
↓
- (4) プログラムファイルを転送
↓
- (5) バージョンアップ完了

⚠注意

- ハイパーターミナル接続前にバージョンアップを中止した場合は、本器はバージョンアップ前の状態で動作します。
- ハイパーターミナル接続後にバージョンアップを中止した場合は、バージョンアップが正常に完了するまでは本器での計測ができません。

3-1 バージョンアップ手順

- (1) P Cと本器をL A Nケーブルで接続します。



図1. 接続例

- (2) 本器の電源を投入します。
- (3) 本器のパワーLED点灯後、P Cで本器にTELNET接続します。
TELNET接続の詳細については、「2 TELNET接続」をご参照ください。

(4) ソフトウェアバージョンアップのコマンドを実行します。

TELNET接続後、下記のようにソフトウェアバージョンアップのコマンドを入力してください。

```
>vup 
VerUP?(y/n):y 
VerUP start
>

VerUP?(y/n):n 
VerUP cancel
>
```

『vup』を入力します。
y を入力するとバージョンアップを開始します。

n を入力するとバージョンアップしません。

バージョンアップを開始すると、TELNETが切断され、本器が再起動します。

本器の前面のパワーLED(緑色)とステータスLED(赤色)が下記のように表示されていることをご確認ください。

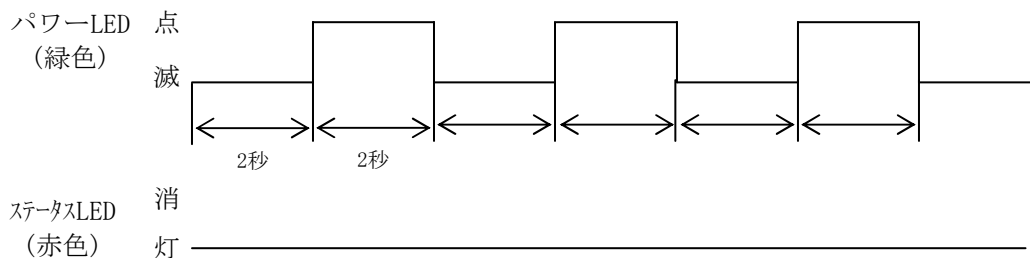


図2. バージョンアップ開始時のLED表示

⚠注意

○バージョンアップを開始した後に下記の操作を行うと、バージョンアップが中止され、本器が再起動します。本器はバージョンアップ前の状態で動作します。

- ・ハイパーターミナルで接続せずに3分経過した
- ・ハイパーターミナルで接続せずに本器の電源を再投入した

(5) ハイパーターミナルを起動します。

スタートメニュー→すべてのプログラム→アクセサリ→通信→ハイパーターミナル
をクリックしてください。

起動すると「接続の設定」のダイアログが表示されます。

⚠注意

○ハイパーターミナル接続後に下記の操作を行うと、バージョンアップ未完了となり、本器はバージョンアップ開始の状態で動作します。バージョンアップが正常に完了するまでは本器での計測ができません。

- ・ファイルを転送せずに3分経過した
- ・ファイルを転送せずに本器の電源を再投入した
- ・ファイル転送中に、プログラムファイルのデータに異常が発生した

- (6) 接続の設定を行い、本器に接続します。
名前を入力し、「OK」をクリックしてください。

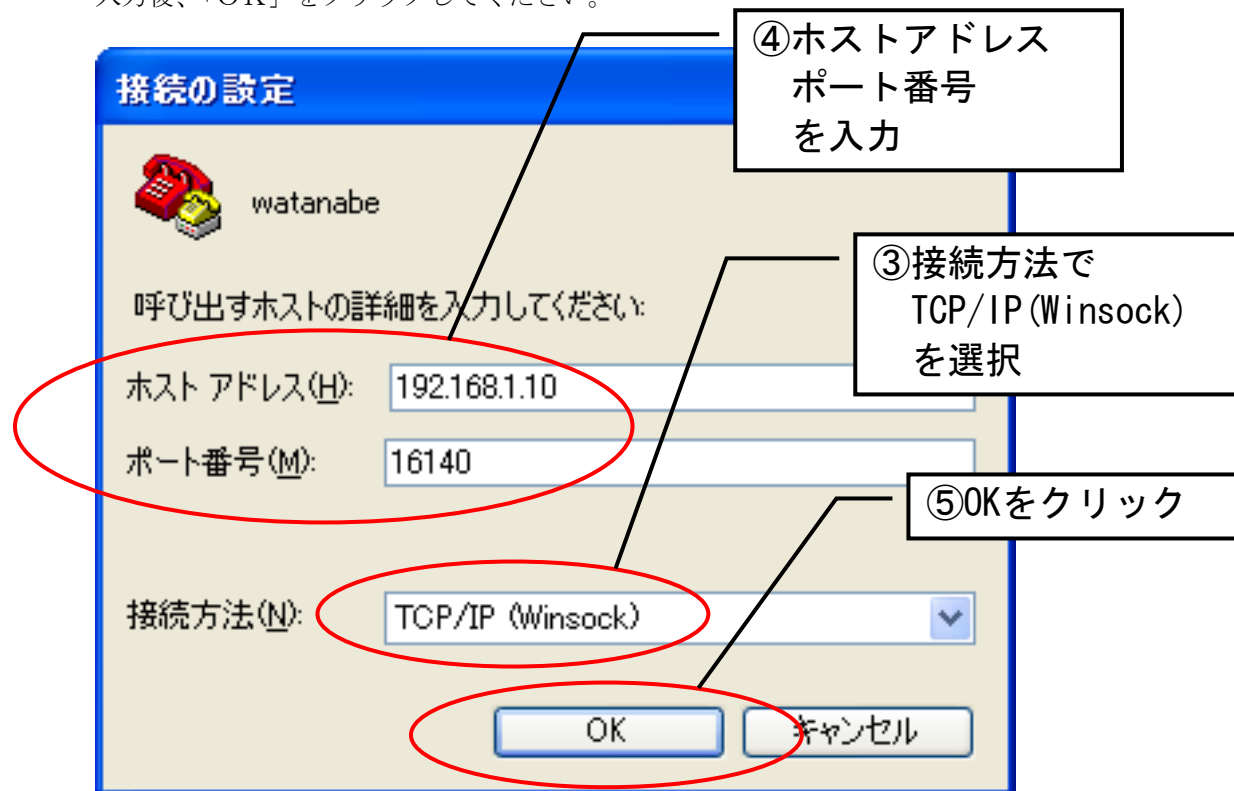


画面1. 接続の設定1

続いて、接続方法で「TCP/IP (Winsock)」を選択し、ホストアドレスとポート番号を半角英数字で下記のように入力してください。

ホストアドレス : 本器のIPアドレス (例)192.168.1.10
ポート番号 : 16140

入力後、「OK」をクリックしてください。



画面2. 接続の設定2

(7) 本器と接続した状態になります。

本器の前面のパワーLED(緑色)とステータスLED(赤色)が下記のように表示されていることをご確認ください。

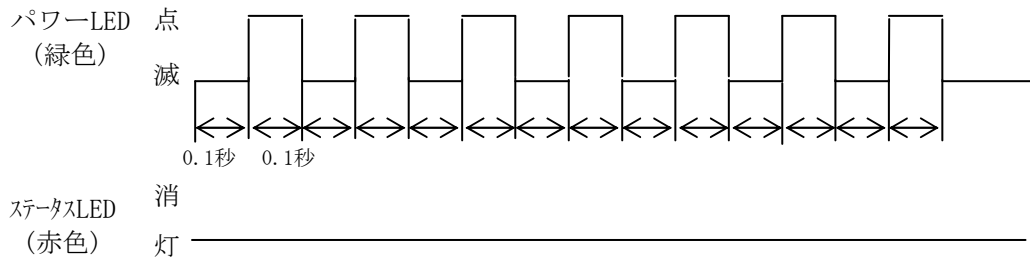
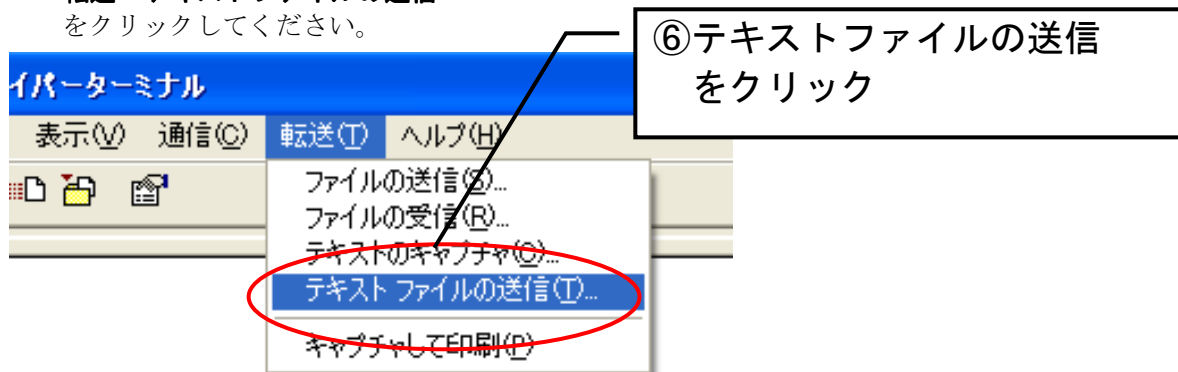


図3. ハイパーターミナル接続時のLED表示

(8) プログラムファイルを転送します。

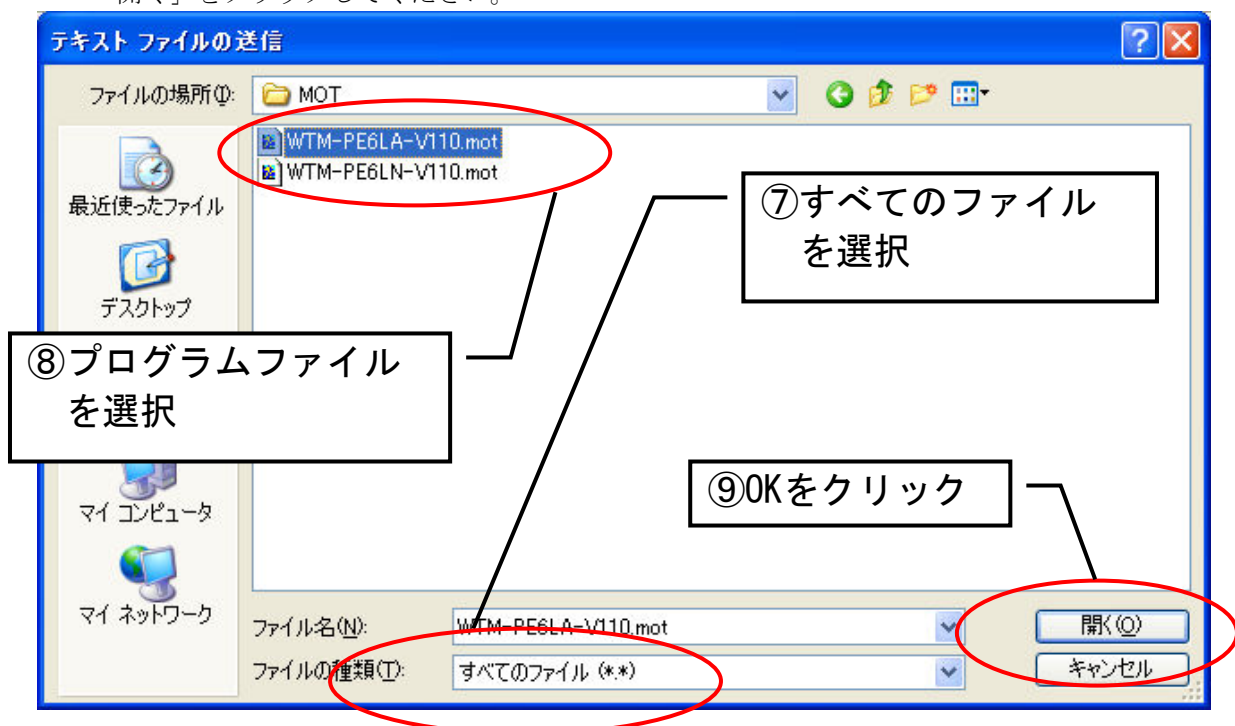
転送→テキストファイルの送信

をクリックしてください。



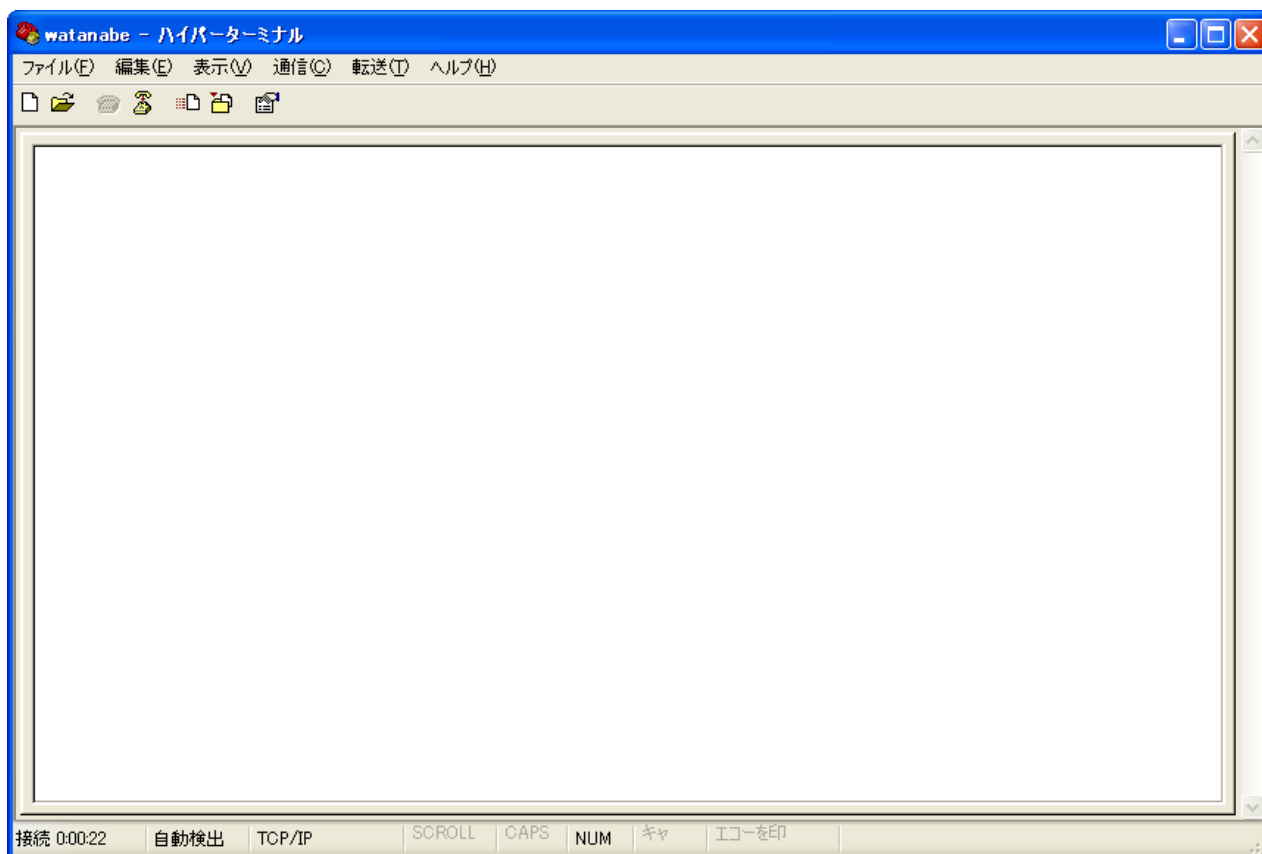
画面3. プログラムファイルの転送1

すべてのファイルを選択した後、PCに保存したプログラムファイルを選択して「開く」をクリックしてください。



画面4. プログラムファイルの転送2

プログラムファイルの転送が始まります。



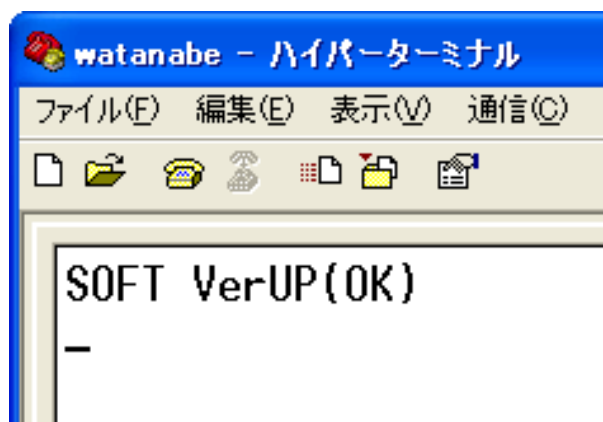
画面5. プログラムファイルの転送3

⚠ 注意

○とくに画面上に変化はありませんが、プログラムファイルの転送が行われています。

○プログラムファイルの転送は、約30秒ほどで完了します。

- (9) プログラムファイルの転送が完了すると画面6が表示され、バージョンアップ完了となります。
本器が再起動し、新しいバージョンで動作します。

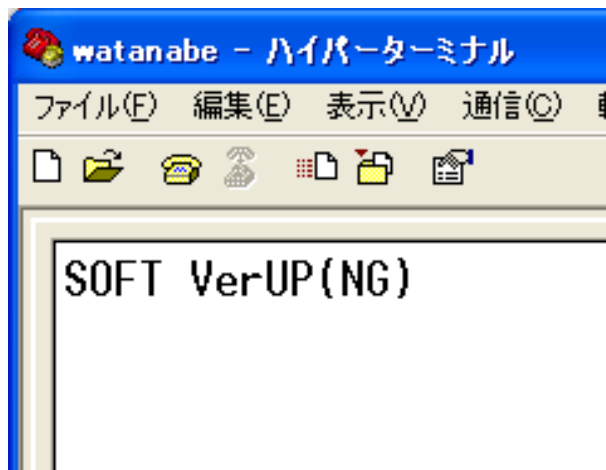


画面6. バージョンアップ完了の表示

⚠ 注意

○プログラムファイルの転送が完了した際に画面7が表示された場合、バージョンアップは正常に完了できていません。バージョンアップ未完了となり、本器はバージョンアップ開始の状態で動作します。

バージョンアップ手順をご確認の上、再度バージョンアップを行ってください。



画面7. バージョンアップ未完了の表示

○バージョンアップが正常に完了できなかった場合、バージョンアップを行う対象の製品の形式と転送するプログラムファイルの形式が同じであることをご確認ください。

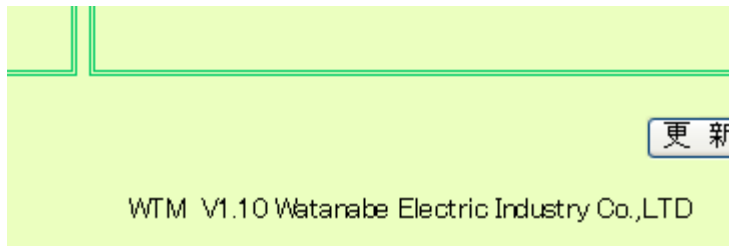
形式が異なっている場合、バージョンアップは正常に完了できません。(画面7が表示されます)

3-2 バージョンアップ後の確認

バージョンアップ完了後は、下記の方法でバージョンアップが正常に完了したことをご確認ください。

- (1) Web ブラウザ画面の右下に、本器のバージョンが表示されます。
バージョンアップ完了後、Web ブラウザ画面の右下のバージョンが、プログラムファイルと同じバージョンになっていることをご確認ください。

Web ブラウザ画面の詳細については、Web 対応エネルギー監視モジュール取扱説明書(仕様編)および Web 対応エネルギー監視モジュール取扱説明書(設置・設定編)をご参照ください。



画面 8. Web ブラウザ画面のバージョン表示例

- (2) バージョンアップが正常に完了すると、バージョンアップ完了のイベントログが本器に保存されます。バージョンアップ完了後、TELNET 接続で内部イベント参照のコマンド(evd)を使用してイベントログをご確認ください。

TELNET 接続のコマンドの詳細については、Web 対応エネルギー監視モジュール取扱説明書(TELNET 編)をご参照ください。

(例) 発生した全ての内部イベントを参照して確認する場合

```
>evd □ M □ 0 □
```

```
001:2010/01/05 05:05:50 08 SOFT VerUP(OK)
002:2010/01/04 04:04:40 08 Power OFF
003:2010/01/02 02:02:20 12 LAN Link(Down)
```

```

:
:
```

>『evd □ M □ 0』を入力します。

>バージョンアップ完了のイベントログです。

>内部イベント2件目が表示されます。

>内部イベント3件目が表示されます。

ご注意 この取扱説明書の内容は、お断りなく変更する場合がありますのでご了承下さい。

watanabe

渡辺電機工業株式会社

<http://www.watanabe-electric.co.jp>

本社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6丁目16番19号

TEL 03-3400-6141(代) FAX 03-3409-3156

大阪営業所 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1丁目14番33号 大町ビル3F

TEL 06-6310-6461 FAX 06-6310-6462

名古屋営業所 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1丁目4番25号 伏見ITビル5F

TEL 052-220-3344 FAX 052-220-3345

IM0469-00 2010年7月29日

